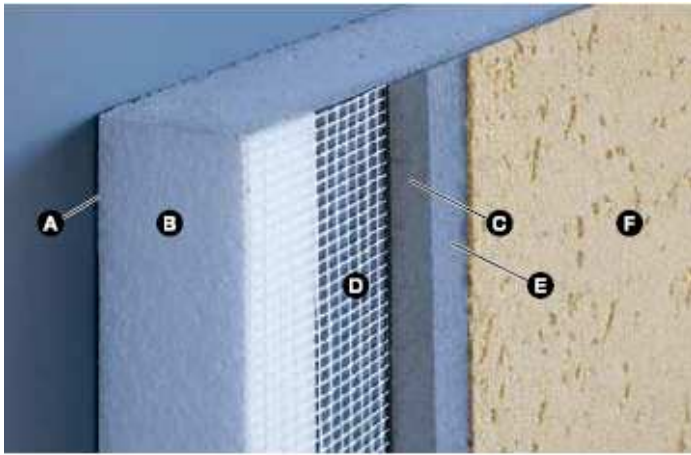


## プレスリリース補足資料 | システムの構造について



外断熱は「良いけど高い」というイメージを払拭し、エコサームは「これなら使える」外断熱を目指して開発されました。JIS 基準以上の耐候性試験、耐火構造2時間認定の取得など、国内で考え得る最高レベルの性能品質を低価格で実現しました。

### A スタイロボンDB(接着材)

アクリル樹脂系モルタル接着材。高い接着力でエコサームボードと躯体を固定します。

### B エコサームボード(断熱材)

高い透湿性能、自己消火性能、柔軟性を持つEPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム)4号品を使用します。

### C スタイロボンDB(ベースコート)

アクリル樹脂系ベースモルタル。エコサームボードを保護し、フィニッシュコートの下地材となります。

### D スタンダードメッシュ(ガラスメッシュ)

耐アルカリ処理を施した、柔軟性のあるガラスメッシュ。高い耐衝撃性能と耐クラック性能を有します。

### E テラコートSIL(フィニッシュコート)

高い耐候性能、透湿性能を有するアクリルシリコン樹脂系仕上げ塗材です。



### エコサームシステムの可とう性

本システムは可とう性の高い EPS、ベースコート、フィニッシュコートを特殊メッシュで強化しておりますので、躯体の挙動によるクラックの発生を防ぎます。



### エコサームシステムの高い耐衝撃性

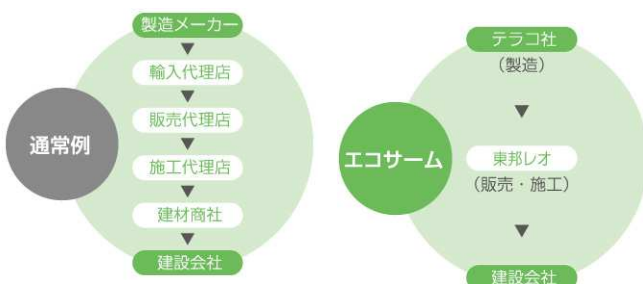
道路に面した1階の壁など、人・物による衝撃破壊が可能性として考えられる場合の対策として、表面補強メッシュを追加する耐衝撃仕様を用意しています。(標準仕様には含んでおらず別途オプションとなります)

## <■エコサームを国内最安値でご提供できる背景>

欧米では、外断熱は標準的な断熱工法として普及しているにもかかわらず、日本においては定着するまでに至っていません。その理由は、日本の外断熱工法の価格にあると考えています。日本で外断熱を流通させる過程で、余分なコストがかかっていました。それらを取り除くことができれば、品質を落とさずに、適正価格でエコサームを提供することができるよう以下4つの『コストの見直し』を行いました。

### ①流通コストの適正化

一般的に中間業者が複数絡む流通経路をとることが多く、コスト高の要因になっています。エコサームは、製造メーカーから直接仕入れ、東邦レオ自身による直接販売・施工まで行うことで、無駄なコストが発生しない流通体制をとっています。



### ③製造コストの適正化

エコサームを製造するTERACO社は上海を東アジアの拠点としています。製造コストの安い東アジアの製造でも品質確保ができるよう、厳しい品質基準を設けているTERACO社を選んでいきます。



### ②輸送コストの適正化

国内で流通している湿式外断熱システムは、ヨーロッパやアメリカ製のものが多く、輸送距離が長い分、コストが多くなります。エコサームは、日本からほど近い中国に製造拠点を置いているため、輸送コストを大幅に抑えることができます。

### ④施工コストの適正化

湿式外断熱システムのコスト構成は、じつにその半分が施工費です。エコサームは、東邦レオと施工班が一体となって取り組む施工効率化と累計 1,400 件の湿式外断熱工法責任施工の経験により、施工コスト適正化を実現しています。職長にはすべて施工マスターの証となるライセンスの取得を義務づけています。